

スポーツと文化部の「運営方針と目標」（令和元年度）

スポーツと文化部長兼

東京2020オリンピック・パラリンピック等担当部長 和泉 敦

スポーツと文化部調整担当部長兼

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ総点検担当部長 大朝 摂子

1 部の使命・目標に関する認識 部の使命・目標

◇スポーツと文化部は、芸術文化、社会教育を含む生涯学習、学校体育を除くスポーツに関する事業を全庁横断的に展開し、市長部局と教育委員会が密接に連携しながら、市民の暮らしに潤いと生きがいを創出する取り組みを一体的かつ効果的に進めます。

◇「文化の薫り高い三鷹」をめざして、芸術文化のまちづくりを推進します。

◇ともに学び、学びを活かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていく心豊かな社会の実現をめざし、生涯学習を支援する環境の整備や施策の充実を図り、市民の「学びと活動の循環」を推進します。

◇市民の健康・体力の増進を図り、「いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも」スポーツに親しむことができる市民スポーツ活動を推進します。

各課の役割

スポーツと文化部は、芸術文化課、生涯学習課、スポーツ推進課の3課で構成され、①芸術文化の振興、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総合調整、②社会教育を含む生涯学習の推進、生涯学習センターの管理運営、文化財保護、③スポーツの推進、SUBARU総合スポーツセンター及び体育施設の管理運営、スポーツ、レクリエーション団体の指導、育成及び人財の育成などを進める部門からなり、各事業を通じて、市民の暮らしに潤いと生きがいを創出する取り組みを担っています。

また、「東京2020オリンピック・パラリンピック」や「ラグビーワールドカップ2019」などを担当する「三鷹市東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部事務局」として、気運醸成事業を行います。

2 部の経営資源（令和元年8月1日現在）

① 職員数

正規職員	22人/990人	比率2.2%	嘱託職員	10人/501人	比率2.0%
------	----------	--------	------	----------	--------

② 予算規模

令和元年度スポーツと文化部予算額（6月補正後）
一般会計 2,174,197,000円

3 主要事業と目標

1 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総点検の実施と、魅力的な事業の推進 (全課)

オープンから3年目を迎える三鷹中央防災公園・元気創造プラザにおいて、施設のハード・ソフトの両面から総点検を実施します。

指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団等との協働により、引き続き円滑な管理運営を実施するとともに、ネーミングライツを継続的に活用することにより、施設の安定的な運営の確保と市民サービスの充実を図ります。

生涯学習センターでは、市民との協働による市民大学総合コースをはじめ、幅広い世代の多様なニーズに応える魅力ある学習機会を提供し、学びと活動の循環を図ります。

SUBARU総合スポーツセンターでは、多世代を対象にした多種目のスポーツ教室事業、健康・体力相談事業などを通じて、スポーツ実施率の向上に向けたスポーツに親しむ機会の創出やスポーツを取り入れた健康づくりを推進します。

【目標指標】

- ・職員参加・市民参加による三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総点検の実施
- ・円滑な管理運営の実施と指定管理業務の検証
- ・事業参加、施設利用者数 80万人（三鷹中央防災公園・元気創造プラザ全体）

2 ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックの積極的な推進（スポーツ推進課）

事業の実施に当たっては、平成31年3月に設置した「東京2020大会に向けた三鷹地域連携会議」と連携して進めます。

ラグビーワールドカップ2019に向けては、小学校におけるタグラグビー出前教室や交流大会、トップリーグ観戦ツアー、日本戦のパブリックビューイングの開催など、ラグビーの魅力発信と体験事業を実施します。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、魅力的な情報発信を行うとともに、聖火リレーや大会に出場する選手等との交流、都立井の頭恩賜公園に開設されるライブサイト等の実施に向けて、東京都、組織委員会と連携し進めます。

【目標指標】

- ・地域連携会議との連携に基づく東京2020大会等気運醸成事業の積極的な推進（各種事業参加者合計2,730人以上）
- ・タグラグビー出前教室、小学生タグラグビー交流試合の開催
- ・聖火リレー、ライブサイト開催に向けた準備、自転車ロードレーステストイベントへの協力と本大会に向けた検証

3 太宰治生誕 110 年記念事業をはじめとした三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業の推進（芸術文化課）

三鷹市にゆかりの深い、太宰治、吉村昭、津村節子、山本有三、神沢利子などの文学者について顕彰事業を実施するとともに、「太宰治記念文学館（仮称）」及び「吉村昭書斎（仮称）」の整備に向けた検討を継続します。

また、令和元年は太宰治生誕 110 年に当たることから、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働により、記念事業を三鷹市美術ギャラリーにおいて開催します。

【目標指標】

- ・三鷹市ゆかりの文学者の顕彰事業の実施
- ・「太宰治記念文学館（仮称）」及び「吉村昭書斎（仮称）」の整備に向けた検討
- ・太宰治生誕 110 年記念事業の実施（来場者数 5,000 人以上）

4 三鷹市大沢の里郷土文化施設の運営の充実と三鷹型エコミュージアムの推進（生涯学習課）

平成 30 年 11 月に開館した大沢の里古民家について、市民ボランティアや市民団体の参加を図りながら、里山の「歴史、自然、文化、暮らし」を体験できる文化財としての特徴を活かした事業を実施します。また、管理運営については、大沢の里水車経営農家と出山横穴墓群 8 号墓とあわせて一体的に行います。

三鷹型エコミュージアムの推進については、市民参加による文化財の保護等に取り組み、地域誌「みいむ」2 号を刊行します。更に、古文書資料のデジタル化を行い、データの一部を公開します。

【目標指針】

- ・大沢の里郷土文化施設来場者数 4,000 人
- ・地域誌「みいむ」2 号の刊行
- ・文化財アーカイブシステムの構築

5 弓道場・アーチェリー場の開設と管理運営体制の構築（スポーツ推進課）

市民センター内の弓道場・アーチェリー場の開設に向け広く市民に利用されるよう、施設特性を踏まえた、安全性、利便性、効率性の高い施設利用のあり方を検討し、SUBARU 総合スポーツセンターと連携した管理運営体制を構築します。

施設のオープンにあたっては、市民に愛される施設となるよう市民との協働による記念イベントを開催します。

【目標指標】

- ・弓道場・アーチェリー場の開設及び記念イベントの開催

6 埋蔵文化財調査室（仮称）の移転に伴う出土品等の適切な保存と公開活用

（生涯学習課）

新川三丁目の埋蔵文化財収蔵庫・展示室を教育センターに移転し、埋蔵文化財調査室（仮称）として出土品等の調査・整理等を行うとともに、教育センター内の展示スペースに展示機能を充実し、来館者用モニターを設置するなど遺跡や文化財に関する情報発信を図ります。

また、埋蔵文化財収蔵庫・展示室を教育センター移転後には、現在の建物の解体工事を実施します。

【目標指標】

- ・展示スペースの充実と遺跡や文化財に関する情報発信
- ・既存建物の解体工事

7 星と森と絵本の家での特色ある施設運営の推進（芸術文化課）

令和元年7月7日に開館10周年を迎えることから、ボランティア（星と森と絵本の家フレンズ）との協働等により、記念事業を実施します。

また、ホームページのリニューアルを行い、情報発信の充実を図ることで、特色ある施設運営を推進します。

【目標指標】

- ・開館10周年記念事業の実施（記念イベント等）
- ・ホームページのリニューアル

8 文化施設の計画的な改修・整備（芸術文化課）

経年劣化により、その更新が喫緊の課題となっている文化施設の付帯設備について、管理上必要な工事を適切かつ計画的に実施し、安全で安定的な運営を確保します。

令和元年度は、芸術文化センター小ホール及び公会堂ホールの舞台機構設備の改修工事を実施します。

【目標指標】

- ・芸術文化センター小ホール及び公会堂ホールの舞台機構設備の改修工事の完了

9 学びと活動の循環の創出と「生涯学習プラン2022」の改定（生涯学習課）

「学びと活動の循環」の創出につながるよう、社会教育を含む生涯学習の振興と施策の総合的な推進を図り、生涯学習審議会を開催して、生涯学習施策の基本的なあり方に関する事などについて調査・審議を行うとともに、提出された意見書をふまえて「三鷹市生涯学習プラン2022」の改定に取り組みます。

【目標指針】

- ・「三鷹市生涯学習プラン2022（第2次改定）」の策定
- ・生涯学習審議会（年4回）と生涯学習プラン推進会議（年3回）の効果的な連携

10 スポーツを通じた市民の健康増進と「三鷹市スポーツ推進計画 2022」の改定
(スポーツ推進課)

人生 100 年時代を迎え、「ひとり 1 スポーツの三鷹」の実現に向けて、スポーツを通じた市民の健康増進を図ります。「三鷹市スポーツ推進計画 2022」の改定に当たっては、スポーツ推進審議会から提出された意見とともに、市民参加で収集した意見の反映に努めます。

【目標指標】

- ・「三鷹市スポーツ推進計画 2022」の改定
- ・健康体操の推進